

令和5年度第2回仙台市いじめ防止等対策検証会議 委員意見要旨

1 いじめ防止等対策に係る研修について

(1) 研修の在り方について

- ・学校現場の困りごとを生かした研修が必要である。学校や学級ごとに困りごとは異なるため、上からの座学では一人一人の教員に研修内容が伝わりにくい。教員にとって有効な研修にするためには、現場の教員の工夫や知恵から内容を考える必要がある。(村松委員)
- ・研修内容が学校全体に周知徹底されるべきである。管理職や同僚と共有しているのだろうか。スクールロイヤーによる研修動画についても、視聴で終わらず、教員同士で意見交換や議論するなどの取組みも必要である。(村松委員)
- ・意図のないいじめもあれば、集団の中での軋轢もある。教員が、重大事態と誰にでも起こり得るトラブルを混ぜて対応すると、対応がうまくいかないこともある。研修でも、理解が混在している教員がいるのではないか。(西海枝委員)
- ・どんなにいじめの対応や未然防止についての研修をしても、基本的な生徒指導をきちんと理解していなければ、適切な対応はできないと思う。(西海枝委員)
- ・研修の柱や体系は、以前より工夫されているが、受けた教員の声を聞きたい。研修と現場レベルの繋がりに関心がある。(氏家会長)

(2) 学校現場で課題と感じられること

- ・学校はいじめの対応を複数人で行うことは勿論のこと、一つ一つのケースについて学校全体で方針を策定していくことを徹底するべきである。(村松委員)
- ・だいぶ組織的に対応を行うようになったが、教員ごとに理解の差があると感じることはある。そこを埋めながら対応を進めている。(西海枝委員)

(3) 保護者や地域に関すること

- ・PTAに参画しない保護者もいる。子どもと学校のみが対応の当事者のようであり、いじめ事案の対応において、保護者も対応力を付けていけると良いのではないか。自分事として事例対応を考えられる保護者対象の研修があると良い。(高橋委員)
- ・今年度は「学校教育がより機能するための保護者や地域の役割」のようなテーマになるだろうか。(氏家会長)
- ・政策とうまく紐づくると良い。保護者に対するものは「研修」ではなく「啓発」なのではないか。一方で、保護者と地域を対象に効果を測定できるのか。また、保護者を対象としたときに、当会議は誰に提言することになるのか。(本図副会長)

(4) 特別活動と研修について

- ・いじめ防止のベースである特別活動をどのように実践していくのかということこそが大切。集団の中での人間関係づくりを指導するために、教員自身が特別活動を理解する必要がある。(西海枝委員)
- ・スローガンよりも日々の実践が大切である。(村松委員)

(5) その他

- ・「認知件数が多いからダメ」という報道が未だにあるのが気になる。(本図副会長)
- ・総体として「市全体の成果」「望ましい成果との比較から見える課題」を施策と紐づけて確認すべき。(本図副会長)

2 いじめ防止「きずな」キャンペーンについて

- ・引き続き各学校独自のやり方で実施できると良い。本校では、自分事として捉えられるように、いじめという言葉を使わずに、全員が安心して過ごせるクラスづくりなどを話し合っている。(西海枝委員)
- ・保護者や地域が関わる場所もあり、「研修」と合わせて検証していくことはできないか。(氏家会長)
⇒地域という視点であれば、当局が担っている(事業 NO.33)。市民向け啓発として、リーフレットの作成・配布等を行っている。学校現場を通して保護者や地域に向けて実践すると考えれば、教育局とこども若者局の連携した取組みも必要だと思われる。(こども若者支援部長)

3 仙台市いじめ等相談支援室 S-KET (エスケット) について

- ・相談件数の増加に対して相談員は対応できているのか。深刻な事態が発生した時に、余力がないと対応できないと考える。応援体制などもあるかもしれないが、引き続き機能できるようにしてほしい。(氏家会長)
⇒開設初年度は6月からの件数であるため、令和3年度、4年度に比べて少ないものであり、令和3年度以降急激に増加しているとは捉えていない。現状の体制で対応できている。(いじめ対策推進課長)

4 在籍学級外教室「ステーション」について

- ・かつての「保健室登校」よりも、学習しやすい環境となり、子どもの選択肢として良いと考える。(村松委員)
- ・これまで登校できなかった生徒、教室にいられなくなった生徒など、様々な生徒が活用している。ステーション内での輪ができることで、新たな生徒が利用しづらいという問題が生じ、個に応じたより良い在り方を模索している。本校では、いじめに起因するものはないが、周囲の視線が気になるなどの訴えで利用するようになった生徒もいる。(西海枝委員)